

令和6年8月7日  
(2024年)

金沢M a a S コンソーシアム  
正会員 各位

金沢M a a S コンソーシアム  
代表幹事代理 古谷 健  
( 公 印 省 略 )

## 新規プロジェクトの募集について（案内）

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より本コンソーシアムの活動にご理解及びご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和4年8月に策定した「金沢M a a Sの施策体系」に沿った新規プロジェクトを正会員の皆様から募集したくご案内させていただきますので、以下のとおり、ご提出いただくようお願い申し上げます。

また今回は、優先的に今後取り組むべき交通課題として【資料2】にて提示しておりますので、解決・改善できる提案について積極的にご検討いただきますようよろしくお願い致します。

### 記

#### 1. 提出書類

事業計画提案書（別紙様式）に内容が分かる資料を添付

#### 2. 提案者

1 社単独提案はもちろん複数企業による共同提案可

#### 3. 提出方法

メールで事務局宛て提出（koutsuu@city.kanazawa.lg.jp）

#### 4. 提出期限

**令和6年8月28日（水）17時**

（早めに提出いただいた場合には、随時、正会員に展開・共有します。）

#### 5. 今後の予定

8月末頃 ・正会員に対し、提出のあった提案を展開・共有

関心のある提案がありましたら、提出した正会員に積極的にアプローチしていただき、正会員同士連携の上、検討を進めてください。

・提案を提出した正会員に対し、内容を深めたプロジェクト事業計画の提出を依頼

アプローチのあった正会員や既に連携している正会員などと検討を進め、内容を深度化したプロジェクト事業計画（自由様式）を期限までに提出

してください。

**提出期限：9月20日（金）17時**

- 9月下旬頃 ・提案のあったプロジェクト事業計画を幹事会で確認
- 10月中旬頃 ・正会員に対し、プロジェクトを再展開・共有

**【以下、金沢市が費用負担をすべきと判断した場合】**

- 11月 ・金沢市が費用負担すべきプロジェクト（市支援プロジェクト）の選定
- ・令和7年度当初予算要求
- 2月 ・市支援プロジェクトの内定
- 3月 ・市支援プロジェクトの確定
- 4月～ ・市支援プロジェクトの着手

※1 上記スケジュールは、金沢市予算編成に基づいています。

なお、ここでお示ししたスケジュールとは別に、随時の提案をいただくことも可能ですが、その場合、金沢市の費用負担の検討対象とできない可能性が高くなります。

※2 このほか、金沢市として政策的に必要であると判断した場合は、上記のスケジュールに関わらず、プロジェクトを立ち上げる場合があります。

**6. 留意事項**

- ・別添「金沢M a a Sの施策体系」を踏まえ、金沢の交通課題の解決に熱意を有し、かつ、金沢の公共交通の利用促進に相乗効果の発揮が見込めること。
- ・自社の費用負担を前提とすること。
- ・金沢市の費用負担が自動的に措置されるものではないこと。  
（金沢市が費用負担するかどうかは、プロジェクトごとに判断します。）
- ただし、ご提案のあったプロジェクトのうち2件は、交通政策課としてプロジェクト支援のための予算要求をします。（支援額は協議が必要）
- ・国庫補助の活用が見込まれる場合は、その情報もご提出いただく資料に記載してください。

**《参考》過去の提案実績**

- ・持続可能な交通ネットワーク構築に向けたデータ連携基盤の検討（提案者：(株)MaaS Tech Japan）
- ・のりまっし金沢を活用したP&R利用促進（提案者：名鉄協商(株)）
- ・新たなモビリティ導入可能性検討（提案者：金沢市）

**《添付資料》**

- 【資料1】金沢M a a Sの施策体系
- 【資料2】今後取り組むべき交通課題
- 【様式】事業計画提案書

【連絡先】金沢M a a Sコンソーシアム事務局（金沢市交通政策課内）  
担当：後藤、泉  
〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号  
TEL 220-2038 FAX 220-2048  
Email koutsuu@city.kanazawa.lg.jp

[プロジェクト名] 事業計画提案書

金沢MaaSコンソーシアム 代表幹事 殿

団体名：

所在地：

代表者氏名：

このたび、金沢MaaSコンソーシアムが今後優先して検討すべき事項のうち、金沢MaaSの施策体系〔⑤今後優先して検討すべき事項のAからFまでの項目 例：A 公共交通利便性の向上〕を図るため、以下のとおり事業計画を提案する。

1. プロジェクト名	
2. 概要	
3. 期間	年 月 ~ 年 月
4. 概算費用	千円
5. 費用負担の考え方	
6. 部会長	
7. 部会事務局	
8. その他	
9. 担当者	氏名：
	部署：
	役職：
	勤務先住所：
	電話番号：
	FAX番号（任意）：
	メールアドレス：

[注意] この提案書のほか、提案内容の分かる資料（様式を問わず）を添付してください。

I 交通まちづくりの目指す姿

- まちなかを核にネットワークでつなぐまちづくり
- 歩行者と公共交通優先のまちづくり



- ①まずは、公共交通の利用回復(コロナ禍により減少した利用者を取り戻す)
- ②次に、自家用車に過度に依存しない交通まちづくりの推進  
〔 KPI: 公共交通分担率10%(2032年)、まちなかの自動車分担率40%(2032年) 〕

II 実現するための手段 MaaSの視点から

①金沢MaaS ロードマップ

	短期 2021~2022	中期 2023~2026
全体	スモールスタート	本格実装
組織	コンソーシアム設立	プラットフォーム構築
データ	活用策検討	政策実施・政策連携
設計	ユニバーサルデザインへの対応	
アプリ	のりまっし金沢→機能拡大→社会実装	
連携	商業連携 → 観光連携	
新たなモビリティ	連節バス検討 → 実験 → 導入・拡大 自動運転車両検討 → 実験 → 導入・拡大 AIオンデマンド交通実験 → 導入・拡大	
参加	体験・シンポジウム・モビリティマネジメント	

②MaaSにより解決すべき課題へのアプローチ

- 様々な企業・団体が社会をよりよくする取組を協力して行い、メリットを享受できる環境を整備する
  - 公共交通の利便性向上を通じて行動変容を促す
  - 利用者の個性に応じたインセンティブを付与し行動変容を促す
- 〔行動変容〕  
自動車利用 ⇒ 公共交通利用  
まちなかへの来街機会、滞在時間増加  
まちなかを歩いて回遊  
ピーク集中 ⇒ オフピーク時利用 など

③解決すべき交通課題

1. 交通ネットワークの再構築  
新しい交通システム、バス路線再編、鉄道の充実
2. 新しい生活様式に対応した移動需要の獲得  
コロナ禍で減少した利用者を取り戻す  
交通結節点整備、P&R推進、バリアフリー推進
3. 交通機能の連携強化  
交通案内、バスレーン、渋滞緩和、タクシー環境
4. 歩行者と公共交通の優先  
歩けるまちづくり、自転車利用環境、駐車場配置
5. 広域・圏域交通による交流の推進  
新幹線、金沢駅、金沢港、都市圏ネットワーク

④金沢MaaSに関連した具体的取組を開始したプロジェクト

A 公共交通利便性の向上

- デジタルチケットの企画乗車券の拡大〔鉄路線各種フリー乗車券、金石・大野周遊シャトルバス〕
- ネイティブアプリ版のリリース

B 多分野連携の推進

- のりまっし金沢+い〜じ〜金沢パスの連携〔クーポンによる移動需要創出+公共交通利用需要創出〕

C 新たなモビリティの実装

- AIオンデマンド交通の実装〔北部地域における試験運行〕

D MaaS等を活用したモビリティ・マネジメント

- 石川線・バスの乗継円滑化実験〔石川線各駅〜香林坊が8時間乗降自由な乗車券で乗継抵抗を軽減〕

E キャッシュレス化の推進・データ利活用

- のりまっし金沢+い〜じ〜金沢パスの連携〔会員属性情報、移動情報、クーポン利用情報等の分析〕
- 城下まち金沢周遊バスへの全国共通交通系ICカードの搭載

⑤今後優先して検討すべき事項

A 公共交通利便性の向上

- 〔企画乗車券開発、経路検索・運行情報・他の便利なサービスの案内・誘導、情報発信等ののりまっし金沢を活かした取組、P&R駐車場との連携〕

B 多分野連携の推進

- 〔お帰り乗車券のデジタル化、観光MaaSとの連携、観光・買い物スタンプラリー等〕

C 新たなモビリティの実装

- 〔AIオンデマンド交通の実装、自動運転車両の実験・導入、連節バスの実験・導入等〕

D MaaS等を活用したモビリティマネジメント

- 〔MaaS・SNSを活用したモニター実験やキャンペーンの実施等〕

E キャッシュレス化の推進・データ利活用

- 〔支払方法の高度化、のりまっし金沢等で取得した各種データと他分野のデータによる交通課題の解決等〕

F プラットフォーム

- 〔API連携やデータ集約のためのプラットフォーム検討等〕

基本情報

具体的な取組

大項目	中項目	取組事項（短：短期 中：中期 長：長期 ●取組中 ○アイデア △目的との整合性を要検討）
A 公共交通 利便性の 向上	ア プ リ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ネイティブアプリ版リリース：9月 （利点：反復利用、動きの速さ、乗車券画面の表示・非表示の操作性、通知機能）</li> <li>中●ネイティブアプリの機能強化（複数乗車券一括購入、クレジットカード番号保存、交通系ICカード残高確認）</li> </ul>
	企画乗車券の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北陸鉄道等の企画乗車券の拡大 （鉄道線全線1日フリー乗車券、土日祝限定1日フリーエコきっぷ、金石・大野周遊シャトルバス）</li> <li>●石川線・バスの乗継円滑化実験：7月</li> <li>中●サブスク的な新しい企画乗車券の販売（平日・日中6時間券、平日10-16時フリー乗車券、観光24時間券、シルバー定期、鉄道線+バス1日フリー乗車券、1～7日間乗車券、月額固定料金 等）</li> </ul>
	経路検索	<ul style="list-style-type: none"> <li>短●北鉄時刻表検索と連携（時刻検索、接近情報、お気に入り機能）</li> <li>短○WESTERとの連携（ドアtoドア経路検索＝まちなり、ふらっとバス検索可能）</li> <li>短○経路検索サービスとの連携（WESTER、駅すばあと、ジョルダン等）</li> <li>短△駐車場案内システムとの連携</li> <li>中○静的GTFS化の推進</li> </ul>
	運行情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>短●バスの運行状況、接近状況の情報提供（北鉄グループ）</li> <li>●ふらっとバスロケーションシステムと連携</li> <li>中○各社バスロケーションシステムによるリアルタイムな情報提供（GTFSリアルタイムへのシステム移行）</li> <li>中○通知機能を使った遅延情報等の提供（ネイティブアプリのプッシュ通知を交通事業者、市が共同で利用）</li> </ul>
	他の交通モードとの連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>短○Kパークと連携（申請）</li> <li>短○金沢市パーク&amp;ライド駐車場との連携（申請）</li> <li>短○タクシー配車システムとの連携</li> <li>中○「まちなり」と連携（バスとのセット料金）</li> <li>中○金沢市パーク&amp;ライド駐車場との連携（経路検索でのP&amp;R駐車場表示、P&amp;R駐車場を起点とした経路案内）</li> <li>中○鉄道・バス等と連携（バスとのセット料金）</li> <li>中○路線バス等と連携（企画乗車券（定期、回数券等））</li> <li>中○タクシーと連携（サブスク料金への参加、1日乗車券利用者への割引等）</li> </ul>
B 多分野連 携の推進	商 業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●のりまっし金沢でクーポンの提供：5月</li> <li>中○お帰り乗車券のデジタル化</li> </ul>
	観 光	<ul style="list-style-type: none"> <li>●WESTER観光スタンプラリー</li> <li>中○観光・買い物スタンプラリーの実施</li> <li>中○観光MaaSとの連携（観光客向け1日周遊券、入場料セット等）</li> </ul>
	生 活	<ul style="list-style-type: none"> <li>長○交通系ICカードとの連携（交通系ICカードと商業・交通ポイント）</li> <li>長●民間ポイントサービスとの連携</li> </ul>
	福 祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>中○かなざわ子育てすまいるクーポンとの連携（子育て支援課）</li> </ul>

大項目	中項目	取組事項（●取組中 ○アイデア △目的との整合性を要検討）
C 新たなモ ビリティ		<ul style="list-style-type: none"> <li>●AIオンデマンド交通の実装（北部地域）+MaaSアプリでの予約、決済</li> <li>中○自動運転車両の社会実験、実装</li> <li>中○連節バスの社会実験、実装</li> </ul>
D MaaS等を 活用した MM	キャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>●のりまっし金沢でクーポンの提供：5月（再掲）</li> <li>●石川線・バスの乗継円滑化実験：7月（再掲）</li> <li>中○モニター、キャンペーンの実施</li> <li>中○エコ通勤専用乗車券等の販売</li> </ul>
	SNS 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共交通を身近に感じる情報発信</li> <li>●年末年始、GW等の混雑期の公共交通利用を促すメッセージ発信</li> </ul>
E キャッ シュレス 化の推進 ・データ 利活用	支払方法 の高度化	<ul style="list-style-type: none"> <li>短●城下まち金沢周遊バスへの全国共通交通系ICカードの搭載</li> <li>長○全国共通交通系ICカードの相互利用や片利用</li> <li>長●タッチ決済、二次元コード決済等</li> <li>長○モバイル版の交通系ICカード</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●モビリティデータの利活用</li> <li>短○のりまっし金沢データの利活用（会員属性、購入状況、クーポン利用、GPS移動データ、文化施設割引）</li> <li>短○い〜じ〜金沢パスデータの利活用（会員属性、ICa-ID、クーポン利用、GPS移動データ）</li> <li>中●ICaデータの利活用（バス停OD、路線区間別利用者数、時間帯別利用者数、利用頻度、平休利用割合等）</li> <li>長○MaaSモビリティデータの一体化</li> </ul>
F プラット フォーム		<ul style="list-style-type: none"> <li>長○API連携やデータ集約のためのプラットフォーム検討（検索、予約、決済）</li> <li>長○モビリティデータの連携・活用プラットフォーム検討（利用者属性、利用状況）</li> </ul>

今後取り組むべき交通課題

※	課題	具体的に解決したい事項
A	ワンマン運転の電車・バス等における、運賃收受監視システム等の導入	(利用者) ワンマン運転に不慣れな来街者や外国人客のストレスフリーな移動の実現  (交通事業者) 運転士の運賃收受監視にかかる負担軽減
A	P&R駐車場の利用促進	市内の駐車場やKパークを活用した公共交通利用促進の仕組みの構築
B	観光と組み合わせた公共交通の利用促進	既存のスタンプラリー等と公共交通を結びつける仕組みの構築

※【資料 1】金沢MaaSの施策体系〔⑤今後優先して検討すべき事項〕